

令和7年度 社会教育事業実績報告書

1 社会教育係の推進事業

(1) 生涯学習の総合的な推進

町内で実施される講座情報を取りまとめた冊子「あしや塾」を広報へ折り込み（全戸配布）を行った。（平成21年度から継続実施）。また、転入時に住民窓口で配布するなど、あらゆる機会を通してPRに努めた。

○生涯学習講座あしや塾の発行：6,850部製作、町内全戸配布（令和8年3月24日（火）配布）

(2) 社会教育の推進

①社会教育委員の会

芦屋町全体の社会教育の向上及び生涯学習課が実施した事業の検証、生涯学習課が実施する事業の助言を受けた。また、各種研修会に参加し個々の資質の向上を図った。

②社会教育団体の支援

社会教育団体補助金

○芦屋町人権・同和教育研究協議会（278,000円）

○町民ブラスバンド：芦屋シンフォニック吹奏楽団（300,000円）以上 計2団体

※町民ブラスバンドについては、補助金の他、楽器の貸付を行う。

取組への評価・課題

●生涯学習講座あしや塾への掲載内容の充実を図ることができた。

●行政と地域の協働のまちづくりを担う各社会教育団体に対し、町内の各種事業における団体との連携や、各団体の独自の活動（研修会など）における会員（団員）の資質や技術の向上を求めるとともに、地域の指導者（団体）としての人材育成と継続的な人材確保を促進するため、支援やアプローチを行った。

(3) 青少年の健全育成

①あしやハンズ・オン・キッズ

町内3小学校の4年生～6年生を対象に年間を通じた体験活動を実施した。

家庭を離れて日常生活では体験できない規律ある共同生活を送ることで、連帯感や協調性、責任感を醸成することができた。

○参加者数32人。

○スタッフにハンズ・オン・キッズOB、OGなど延べ51人が参加し、連携を図りながら参加者の指導にあたる。

実績	日程	内容	場所
開講	6月13日（金）	開講式、保護者説明会	町民会館
1回	6月28日（土）	なかよしチャレンジ	町民会館、中央公園
2回	7月26日（土）	ロボットプログラミング	町民会館

3回	8月21日(木) ～ 23日(土)	サマーキャンプ	町民会館 海の中道青少年海の家
4回	9月20日(土)	エコ活	中央公民館 タカミヤ環境ミュージアム
5回	10月18日(土)	ものづくり	町民会館
6回	11月9日(日)	出店体験	アクアシアン 東芝生広場
7回	12月6日(土) ～ 7日(日)	ウィンターキャンプ	町民会館、福岡県立社会教育総合センター
8回	1月17日(土)	まとめ研修Ⅰ &お楽しみ会	町民会館、生き生き市場 Good Smile はまゆう
9回	2月14日(土)	まとめ研修Ⅱ &アイススケート	町民会館、北九州アイススケートセンター
閉講	3月14日(土)	報告会、閉講式	町民会館

取組への評価・課題

- ハンズ・オン・キッズ事業は、ほぼ計画どおりに事業を実施することができ、研修生は、さまざまな体験活動を経験することができた。また、研修生及び保護者のアンケートにおいて、年間を通じた事業について満足しているとの意見を受けることができた。今後も、魅力のある事業を計画し、研修生の参加意欲を図っていく。

②栃木県佐野市との青少年交流事業

茶の湯釜の産地として歴史的に共有の文化をもつ栃木県佐野市（天明釜）との交流事業の実施。

○令和7年度は、本研修を8月3日（日）～5日（火）に芦屋町で実施した。

○芦屋町参加者：14人（小中学生）、佐野市参加者：16人（小中学生）

○スタッフに佐野市青少年交流事業OG1人が参加し、連携を図りながら参加者の指導にあたった。

実績	日程	内容	場所
説明会	7月1日(火)	保護者説明会	中央公民館
1回	7月12日(土)	第1回事前研修（オリエンテーション、こどもサミット準備）	中央公民館
2回	7月22日(火)	第2回事前研修（こどもサミット準備、本研修の事前説明）	中央公民館
3回	8月3日(日) ～5日(火)	本研修（こどもサミット、芦屋歴史の里見学、塩づくり、海あそび）	芦屋町内
4回	8月30日(土)	事後研修（活動のまとめ、報告会発表練習）	中央公民館
報告会	9月13日(土)	報告会	中央公民館

取組への評価・課題

- 参加申し込みが定員割れを起こしているため、参加者数を確保できるように啓発を行っている。
- 保護者のアンケートでは「芦屋町をもっと好きになってくれた」、「他県の同世代と交流することで刺激になった」といった回答があり、参加者は芦屋町を見つめ直すとともに、佐野市についても意欲的に学習できていた。今後も両地域の特性を活かしたプログラムの充実に努める。

③ 芦屋町青少年問題協議会

町内各種団体の代表者や地域住民により組織され、芦屋町の青少年健全育成にあたり、様々な事業について、啓発活動や総合的な施策の調整、審議を行った。

- あいさつ運動……………毎月月初めの登校日（学期初めは2日間）に街頭啓発の実施。
- 非行防止夜間巡回……………2市4町協働パトロール（12回）
- 環境浄化……………有害図書、有害玩具の立入調査実施や白いポストの維持管理、水禍防止看板等の管理
- 広報啓発……………「すくすく育てあしやっ子」記事の掲載。4回
- 安全パトロール実施……………教育委員会職員が町内へ外出する際に、併せて安全パトロールを実施した。また、不審者発生時に随時巡回実施。

取組への評価・課題

- 青少年問題協議会事業について、折尾警察署等関係機関と連携し情報交換・共有していく。
- 安心・安全なまちづくりの実現のため、町内の不審者情報を、町のホームページ、公式LINE、KBCテレビのdボタンなどを活用し情報発信をしていく。また、不審者情報の内容に応じて、町民へ周知を行った方が良いと判断した場合には、戸別受信機での情報提供に努める。町全体の防犯意識の高まりや見守り活動を推進していくよう努める。

④ いきいき芦屋っ子育成補助事業、国内外研修派遣事業補助事業

交流や文化・産業・地域活動のあり方などの研修をとおして、地域リーダーとなる人材の育成を目的に国・県や社会教育関係団体が主催する人材養成事業への参加費を助成する。

- いきいき芦屋っ子育成補助事業 事業利用者なし
- 国内外研修派遣事業補助事業 事業利用者なし

取組への評価・課題

- 補助事業の活用を図るため、補助事業の内容等を広報紙、ホームページに掲載し周知を行っている。

⑤ 二十歳のつどい開催

1月の成人の日前の日曜日に二十歳を祝う会を開催した。第一部の記念式典では、芦屋シンフォニック吹奏楽団による演奏などを実施し、第二部では恩師との交流会を実施した。

- 令和8年1月11日（日）総合体育館サブアリーナ
- 対象者165人に対し、参加者101人（町内居住85人、町外16人）
- 二十歳の記念品として、錫製酒器を贈呈

⑥新成人のお祝い実施

○民法改正により令和4年4月1日から成人年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、新成人になることをお祝いし、大人としての自覚を持つことを促すため、町長からのお祝いメッセージカードを贈った。

○対象者92人にお祝いメッセージカードを送付

取組への評価・課題

- 令和7年度は、第二部の恩師との交流会を昨年度と同様に飲料のみの提供とした。
- 令和5年度までは、二十歳の記念品として書籍としおりを贈呈していたが、令和6年度からシビックプライドの醸成を図るため芦屋鋳物師が作成した錫製酒器の贈呈に変更した。
- 18歳の人に成人になることに伴う注意喚起を示した消費者庁啓発チラシを同封することで、新成人としての自覚を促すことができた。

(4) 家庭教育の推進

①チャレンジキャンプ事業の実施

こども自身の豊かな心の醸成を図り、心身ともに健全で社会性のある人格形成を目指すとともに、親子で参加することで家庭教育力の向上を図り、体験活動の重要性を感じてもらうことを目的で実施した。

○町内の小学校1～3年生の児童とその保護者を対象に、ものづくり及びクッキングを実施した。

○参加者数：10組23人（保護者10人・児童13人）

○日時：令和7年6月1日（日）午後1時～5時

○場所：総合運動公園みどりの広場

取組への評価・課題

- チャレンジキャンプ事業は、定員を超える応募が続いていることから、来年度は実施を2回に変更する。参加者アンケートでは、またチャレンジキャンプに参加したいとの回答が多かった。

②広報啓発活動

○広報紙に「すくすく育てあしやっ子」などを掲載した。

発行日	テーマ	タイトル
6月号	すくすく育てあしやっ子No.195	こどもにお手伝いの機会を作ってみませんか
9月号	すくすく育てあしやっ子No.196	ただ読むだけじゃない！家庭でできる読書活動
12月号	すくすく育てあしやっ子No.197	「力ではなく言葉で」現代のしつけ
3月号	すくすく育てあしやっ子No.198	こどもとインターネット～被害者にも加害者にもならないために～

取組への評価・課題

- 子育てに時間が取れない、子育てに不安や悩みがある、誰にも相談できず孤立しがちである、子育てに関心はあるが学ぶ余裕がないなど、広報紙に「すくすく育てあしやっ子」を掲載することによりさまざまな保護者に対して啓発活動を行うことができた。

(5) 人権・社会同和教育の推進

① 芦屋町人権教育・啓発基本計画の推進

地域の実情に即した人権教育・啓発を推進するため、令和5年度に策定した第2次芦屋町人権教育・啓発基本計画（計画期間：令和5年度～14年度）に基づき、「一人一人が個人として尊重される社会」「一人一人が個性や能力を十分に発揮する機会を保障される社会」「違いを認め合い、多様性が尊重される社会」の三つの社会を実現することを基本理念に、事業を推進した。

取組への評価・課題

- 「第2次芦屋町人権教育・啓発基本計画」に基づき、人権に関する意識の向上及び人権啓発を推進して行くことができた。
- 定期的に事務事業調査を実施し、達成状況を把握することで、第2次人権教育・啓発基本計画に基づいた施策の推進に努めていく。しかし、昨年度は、事務事業調査を実施することができなかった。事務事業調査表を作成し調査できるように努める。

② 人権講演会（7月：福岡県同和问题啓発強調月間）

人権・同和教育などに対する正しい認識と理解を深め、自らの課題とすることで、意識高揚を図るため、芦屋町、芦屋町教育委員会、芦屋町人権・同和教育研究協議会主催で、町民を対象に講演会を開催した。

○芦屋町人権講演会 令和7年7月4日（金） 午後6時30分～8時00分
あしや夢リアホール

※同和问题啓発強調月間行事として開催

（テーマ：障がい者の人権）

講師：桂 文太 さん（落語家）

演題：～中途失明を乗り越えて～盲導犬ユウゴと笑いを届ける噺家「桂 文太」

来場者 258人

取組への評価・課題

- 7年度の人権テーマに沿った講演会することにより、福岡県同和问题啓発強調月間に併せて、町民に対して啓発を行うことができた。
- 参加者の年齢は、50代が一番多く、次いで40代、70代以上の順であった。7年度は、会場をあしや夢リアホールに変更して開催した。参加者数は、昨年と比較してもあまり変わらなかった。
会場の変更による参加者の影響は少ないと考える。
構成団体へのチラシ配布等を行い、来年度以降も継続していく。また、町のホームページ、公式LINE、戸別受信機などを活用して周知を図り、来場者の増加に努める。

- 人権講演会に合わせ、会場の客溜に人権啓発パネルと男女共同参画パネルを展示することで、さらに啓発に努めることができた。

③人権まつりの開催（12月：人権週間：12/10（人権デー））

芦屋町、芦屋町教育委員会、芦屋町人権・同和教育研究協議会主催で、実行委員会形式により開催した。

○第27回芦屋町人権まつり 令和7年12月13日（土）午前10時30分～午後3時

あしや夢リアホール

※人権週間啓発行事として開催

各種団体による「ふれあいイベント」（3団体）

青少年の主張大会 発表者8人（小学生5人、中学生3人）

人権講演会（テーマ：外国人に関する人権）

講師：アン・クレシーニ さん（北九州市立大学 准教授）

演題：多様性社会～だれもが自分らしく生きるために～

人権啓発パネルの展示、小中学生による人権啓発作品の展示、男女共同参画啓発パネルの展示

YY くらぶの皆さんの絵画

来場者：424人

取組への評価・課題

- 会場をあしや夢リアホールに変更して人権まつりを開催したが、昨年の来場者より若干の減程度であった。また、さまざまなイベントを通して人権啓発を図ることができた。
- 人権まつりのアンケート結果の感想では、「大変満足」と「まあ満足」を合わせると94.1%あり、良かった催し物として、人権講演会と青少年の主張大会で92%の方が良かったと回答している。また、人権に関しての関心や理解についても、「大変深まった」と「深まった」を合わせると96.6%の回答があったことから、人権啓発が図られたと考える。
- 毎年テーマが変わるため、テーマに沿って講演の形式や内容を検討し、より多くの人に人権啓発ができるように努めていく。また、人権まつりの開催に関する情報をホームページ及び戸別受信機などで情報発信するとともに、町内各学校や区長会への周知を徹底し、人権まつりの来場者数の増加に努める。

④広報啓発活動ほか

○人権カレンダーの製作

小中学生の人権作品（ポスターなど）を掲載した人権啓発カレンダー（A4版）6,850部を製作し、町内全戸及び関係団体へ配布（令和7年12月25日（木）配布）

○人権啓発冊子の製作

インターネットによる人権侵害、性的少数者（性的マイノリティ）の人権をテーマに啓発冊子（A4版16ページ）6,850部を製作し、町内全戸及び関係団体へ配布（令和8年2月25日（水）配布）

○人権啓発パネルの展示

同和問題啓発強調月間（7/1～31）および人権週間（12/4～10）に役場ロビーで人権啓発パネル展示を行い、人権啓発に努めた。

○街頭啓発の実施

福岡県同和問題啓発強調月間（7月） 令和7年6月27日（金） 町内2か所
人権週間 令和7年12月1日（火） 町内2か所

○各種研修会への参加

福岡県社会人権・同和教育担当者研修会
福岡県市町村社会人権・同和教育担当部課長研修会
北九州教育事務所管内人権教育指導者研修会
人権啓発研究集会
部落解放・人権確立全九州研究集会

取組への評価・課題

- 人権啓発カレンダーでは、町の人権に関する取り組みや小中学生の人権標語・人権ポスターなどを掲載したカレンダーを作成した。また、人権カレンダーを全戸配布し人権啓発に努めた。
- 人権啓発冊子では、第2次芦屋町人権教育・啓発基本計画の9つの分野の中からインターネットによる人権侵害及び性的少数者（性的マイノリティ）の人権をテーマに選出し、特集記事を作成した。また、さまざまな人権課題や、町内で行っている人権啓発活動について紹介し、人権問題の情報提供や人権尊重の教育と啓発に努めた。
- 人権カレンダー・人権啓発冊子のページ数やレイアウトなど、住民が人権に触れやすい内容を、担当及び芦屋町人権・同和教育研究協議会内で検討していく。また、人権カレンダーが、各家庭で活用できるようにレイアウトなどを検討していく。
- 人権問題について正しい理解を促すことができるよう人権啓発冊子の内容の充実を図り、町内の全戸配布を継続して芦屋町の人権教育・啓発に取り組む。
- 同和問題啓発強調月間中に街頭啓発を行い、人権講演会のPRと同和問題に対する意識啓発を実施することができた。
- 人権週間に街頭啓発を行い、人権まつりのPRとともに人権問題に対する意識高揚に努めることができた。
- 福岡県人権情報センターに人権パネルの借用を早期に行い確保することができた。今後も、町民の人権に対する意識啓発を推進していくために、早期に人権啓発パネルの借用を行っていくようにする。
- 各研修会において差別の実情や近隣市町村の啓発事業実践事例を学ぶことができた。芦屋町の今後の人権教育・啓発事業の参考となるものを検討し、事業の充実を図っていく。

（6）男女共同参画社会の推進

①芦屋町男女共同参画推進プランの推進

男女共同参画社会の実現のため、令和4年度に策定した第3次芦屋町男女共同参画推進プラン（計画期間：令和5年度～14年度）に基づき、各課とともに事業を推進した。

②住民向け研修及び職員研修の実施

○住民向け研修を実施し、12人が参加した。

（令和8年2月14日（土））

演題：あなたならどうする？クロスロードゲームで考える多様性

講師：オフィス荒武 代表 荒武 勢津子

③広報啓発活動

○6月の男女共同参画推進週間に、男女共同参画に関する特集記事を広報に掲載した。また、7月上旬に男女共同参画のパネル展示を、中央公民館1階の住民サロンで行い啓発に努めた。また、7月の人権講演会でも同パネルの展示を行った。

④男女共同参画審議会

男女共同参画推進プランに基づく、事務事業の報告や計画について審議・助言を行った。

取組への評価・課題

- 第3次男女共同参画推進プランに基づいた取り組みを実施する。事務事業調査を実施することで達成状況を把握し、施策の推進に努める。
- 隔年で、住民向けと職員向けの男女共同参画研修を実施している。令和8年度は職員向け研修であるため、町職員に対し理解の浸透を図る。
- 男女共同参画に関するパネルを貸し出しする施設が少ないので、さまざまな方法でパネルの確保に努める必要がある。

(7) 社会体育活動の充実

①社会体育事業の実施

芦屋町スポーツ推進委員・芦屋町体育協会・総合型地域スポーツクラブと連携して、スポーツを通じた交流やコミュニティの活性化の活性化及び町民の体力づくりのイベントを実施した。

種目・大会名等	実施日	実施場所	参加者数
ボッチャ体験教室 (3回)	令和7年5月24日(土)、 6月14日(土)、29日(日)	小学校体育館	83人
キッズスポーツフェスタ	令和7年6月7日(土)	総合体育館 (メインアリーナ)	90人
スポーツふれあいフェスタ 2025	令和7年10月11日(土)	総合体育館	136人
ピラティス教室	令和7年11月30日(金)、 令和8年3月15日(日)	総合体育館 (サークル室)	27人
スロートレーニング講座	令和8年3月15日(日)、 16日(月)	総合体育館 トレーニング室	8人
障がい者レクスポ大会	令和8年3月21日(土)	総合体育館 (メインアリーナ)	63人
ボッチャ練習会	令和7年11月9日(日)～ 令和8年3月28日(土) 全10回	総合体育館 中央公民館	169人

取組への評価・課題

- キッズスポーツフェスタは、例年どおりスポーツ推進委員と連携し実施した。内容の充実化を図りつつ継続して実施していく。
- 障がい者レクスポ大会は、参加団体数を考慮し令和5年度に行った運動会方式で実施した。内容の充実化を図りつつ継続して実施していく。
- 各種事業で参加人数が減少傾向にある。参加人数を増やすため、内容のチラシのデザイン変更など、周知方法の工夫が必要。
- 既存事業に加え、町のニーズに合わせた新たな健康づくり教室の実施に向けて検討していく必要がある。

②スポーツ推進委員

町民体育祭やキッズスポーツフェスタなど町の事業運営に関する企画・立案や、町の生涯スポーツ振興に関わることについて協議を行った。

取組への評価・課題

- 従前からの事業に加え、新たな事業（ボッチャ推進事業）として、体験教室や練習会を実施した。また、競技用具を2セット購入した。委員と協同で作成した3か年計画に沿って継続して進めていく。

③社会体育団体の支援

A. 芦屋町体育協会

競技スポーツの推進を図るため芦屋町体育協会と芦屋町スポーツ少年団を支援し、スポーツ指導者の人材育成を図った。

ア. 社会体育団体補助金

芦屋町体育協会補助金	(3,512,155円)
スポーツ少年団補助金	(618,609円)
町内スポーツ大会実施助成金	(427,959円)

イ. スポーツ大会・教室の開催（体育協会主催）

スポーツを通じた青少年健全育成や、こどもから大人までが参加できる町内スポーツ大会及びスポーツ教室を連携して開催することで、町民が健康づくりや親睦を目的に各種競技に参加できる機会の提供を行った。

種目・大会名等	実施日	実施場所	参加者数
卓球大会	令和7年4月20日（日）	総合体育館	33人
グラウンドゴルフ大会	令和7年5月31日（日）	中央グラウンド	102人
ソフトバレーボール大会	令和7年6月22日（日）	総合体育館	99人
ソフトボール大会	グラウンド改修工事のため中止		
マラソン大会	令和7年11月23日（日）	海浜公園	87人

児童を対象とした事業

教室名	実施日	回数	実施場所	参加者数
水泳教室	令和7年7月22日(火) ～25日(金)	1回	山鹿小学校プール	51人
ジョギング教室	令和7年11月17日(月) ～21日(金)	1回	祇園崎運動広場	41人 ※5日間 延べ人数

B. 総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブ実施事業の広報活動など支援した。

C. 遠賀郡体育協会

夏季・秋季・冬季郡民大会の広報活動、会場貸付など支援を行った。

郡体育協会負担金 1,026,300円

取組への評価・課題

- 体育協会、スポーツ少年団の他、県等の各担当部局との連携も深め、所属団体にさまざまな情報の提供を行う。
- 体育協会役員の高齢化や、役員のなり手不足などにより、連携を行う上でさまざまな課題点がある。しかし、スポーツ事業の実施及び活性化が必要である。このため、今後も連携しながら事業を継続していく。

④ 社会体育施設の改修等

【総合運動公園】

- 総合体育館・小体育館の老朽化した卓球台を買い替えた。
- 総合体育館のバレーボール支柱が老朽化していたため、買い替えた。
- 総合体育館のソフトバレー・バドミントン支柱が老朽化していたため、買い替えた。
- 総合体育館のコートブラシが老朽化していたため、買い替えた。
- 総合体育館のホワイトボードが老朽化していたため、買い替えた。
- 総合体育館のFAX機が老朽化していたため、買い替えた。
- 総合体育館にあるスピーカー用のマイクユニットを購入した。
- 総合体育館内の図書室及びサークル室のパイプ椅子が老朽化していたため、買い替えた。
- 総合体育館内のサークル室の長机が老朽化していたため、買い替えた。
- 総合体育館・テニスコート更衣室内のベンチが老朽化していたため、買い替えた。
- 総合体育館の非常用電源設備の増設を行った。
- 総合体育館内の建具の雨漏り発生箇所の改修を行った。
- 総合体育館玄関スロープ屋根に防風用の天井材を設置した。
- 総合運動公園内大君側（県道202号線側）出入口に減速帯及び停止線を設置した。
- 中央グラウンドの土壌改良、手洗い場や観客席の整備を行った。
- 中央グラウンドに時計を設置した。

【テニスコート】

- テニスコート用のベンチが老朽化していたため、買い替えた。
- コートブラシが老朽化していたため、買い替えた。
- クレーコート（土のコート）の人口芝化工事を行った。

【学校体育施設】

- 芦屋小学校にある社会体育団体用のバレーボールネットが老朽化していたため、買い替えた。

⑤芦屋町体育スポーツ出場参加補助金

芦屋町民のスポーツの普及及び振興を図るため、各種大会（全国大会・九州大会など・郡民体育大会・県民体育大会）に参加する者に対し、補助金を交付した。

体育スポーツ大会出場参加補助金	6人
郡民体育大会（夏季大会）	9人
県民スポーツ大会（夏季大会）	5人
郡民体育大会（秋季大会）	99人
県民スポーツ大会（秋季大会）	31人
市町村対抗福岡駅伝	12人

(8) ボランティア活動センター事業

①コーディネート事業

ボランティアを必要としている団体・組織と、ボランティアに興味・関心のある個人・団体を繋げることができた。また、ボランティアに興味・関心のある個人に対しての相談に乗り、情報提供を行った。

ボランティアやイベント、セミナー情報に関するチラシやポスターなどを利用し、情報発信を行った。

②りーどぼらんていあキッズ事業

平成24年度より子どもたちのボランティア活動推進に取り組んでいる。令和7年度は町内の小学生を対象に「りーどぼらんていあキッズ」事業を行い、研修会や実践活動を通じてボランティア活動について学習した。参加者数25人。

実績	日程	内容	場所
1回	6月15日（日）	活動結成式・保護者説明会	町民会館
2回	7月24日（木）	魚の水揚・選別支援	遠賀漁業協同組合 芦屋支所
3回	8月19日（土）	シャボン玉石けん工場見学	シャボン玉石けん株式会社
4回	10月1日（水）	赤い羽根街頭募金協力	スーパーはまゆう前
5回	10月4日（土）	あしやビーチクリーンアップ	町民会館
6回	11月16日（土）	エコバッグ作成	町民会館

7回	12月13日(土)	人権まつり「あそびのひろば」	あしや夢リアホール
8回	2月7日(土)	年間活動結果のとりまとめ	中央公民館
9回	3月7日(土)	年間活動報告会・修了式	町民会館

③ボランティア養成・支援事業

芦屋町ボランティア活動センターの活性化

○登録団体数 28団体(令和8年3月末現在)

○個人登録者数 42人(人財バンク登録含む) 前年度から1人増

○利用者数の推移(単位:人)

年度 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和3年度	207	79	126	228	92	55	208	211	228	181	201	356	2,172
令和4年度	186	193	243	212	175	236	231	209	205	210	177	263	2,540
令和5年度	200	265	231	204	154	165	180	375	248	164	268	267	2,721
令和6年度	183	222	253	229	111	196	176	223	281	185	164	246	2,469
令和7年度	121	158	236	176	150	165	213	298	200	162	177	265	2,321

○講座・研修の実施

新規ボランティアを発掘・育成するため、ボランティア未経験者がボランティア活動を始めのきっかけとなるような体験型講座や、経験者のスキルアップを目的とした体験型・交流型研修を実施した。

日程	内容	場所	参加者数
4月26日(土)	ワールドカフェ	町民会館	19人
9月6日(土)	ボランティア養成講座(折り紙ボランティア)	町民会館	31人
11月12日(水) ～26日(水)	クラフトマーケット	ボランティア活動センター	
3月28日(土)	ボランティア養成講座(手話体験講座)	町民会館	23人

取組への評価・課題

- ボランティア活動センターは年間を通じて一定の利用が見られる。新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大きく減少していたが、徐々に回復している。
- どの団体も人材確保や後継者不足といった課題を抱えている。活動団体の周知やボランティア研修会などを実施し、町民にボランティア活動を広め、ボランティア活動を始めのきっかけとなる機会を提供していく。
- 第3次芦屋町ボランティア活動推進計画に基づき、各種事業を推進していく。

(9) 町民会館運営事業

- 貸館運営のみで、館独自の講座、研修会、イベント企画等は実施していない。
- 計画的に施設の整備及び備品の交換が行えるよう、施設管理者や管理人による日々の点検や業務委託による定期点検を実施し、施設の維持管理に努めた。
- 581,170 円の使用料収入。10,500 人の利用があった。
- 照明の LED 化を行った。
- 落雷の影響で 2 階の空調機器が故障したため、修繕工事を行った。

取組への評価・課題

- 施設及び備品の老朽化により突発的に不具合や故障が発生しており、その都度修繕及び備品を購入している。計画的に施設の整備及び備品の交換が行えるよう、施設管理者や管理人による日々の点検や業務委託による定期点検を実施し、施設の維持管理に努める。
- 大ホールステージ天井のぶどう棚の老朽化により、吊物点検ができず、令和 7 年度から当面の間ステージの利用を中止としている。また来年度には改修工事が入ることから、利用者への説明を十分に行う必要がある。

2 公民館・文化系の推進事業

(1) 公民館活動の活性化

①公民館講座の充実

○中央公民館講座

開催日	講座名	講師	参加者
4月12日(土)	版籍奉還から廃藩置県～中央集権への道～	一坂太郎(菟博物館特別学芸員)	44人
5月15日(木)	人生100年時代のライフプランニング	西日本シティ銀行芦屋支店及び本部分行員	35人
6月14日(土)	ババちゃんのジジ(時事)放談 ～一刀両断斬り捨て御免～	馬場周一郎(元西日本新聞社政治部記者)	20人
7月17日(木)	チョコレートの世界へようこそ!	長廣睦子(榊明治食管理栄養士)	28人
8月24日(日)	夏野菜を楽しむ!涼やかde簡単和イタリアン	小笠英子(イタリア料理研究家)	19人
9月17日(水)	歯と全身の健康について	小野村健太郎(おのむら医院院長)	35人
10月19日(日)	心に響くモンゴルの風第3弾	マンダルフ(馬頭琴演奏者)	72人
11月16日(日)	芦屋釜の美と鋳物師の技	新郷英弘(芦屋釜の里館長)	15人
12月7日(日)	新春を彩る苔玉作り	吉岡学(樹木医)	20人
令和8年 1月18日(日)	原作と映画はこんなにも違う～ 「砂の器」松本清張VS野村芳太郎～	矢野寛治(映画評論家)	72人
令和8年 2月14日(土)	あなたならどうする?～クロスロードゲームで考える多様性～	荒武勢津子(オフィス荒武代表)	15人
令和8年 2月25日(水)	芦屋基地を見て回ろう	航空自衛隊芦屋基地隊員	16人
令和8年 3月14日(土)	日本に関する国際法の話Ⅶ	深町公信(熊本大学名誉教授)	25人
13回実施		合計	416人

○各種公民館講座の実施

	講座名	開催時期	参加者	回数	延人数
中央公民館	スマホ入門講座	9月30日(火)～ 10月28日(火)	9人	5回	40人
	スマホ実践講座	11月4日(火)～ 12月4日(木)	17人	10回	137人
芦屋東公民館	小筆教室	5月24日(土)、 11月15日(土)	19人 15人		
	フラワーアレンジメント講座	12月27日(土)	20人		
山鹿公民館	ひまわりのブローチづくり	6月11日(水)	7人	3回	35人
	夏休みこども英会話教室	8月8日(金)～ 10日(日)	12人		
	巨大松ぼっくりツリー作り	12月10日(水)	4人		

取組への評価・課題

- 定員に満たない講座も多いため、参加者数増を見込む講座内容や周知方法などの検討が必要である。
- スマホ入門講座では、国が推進するデジタル社会の実現に向けた重点計画を踏まえ、機器を購入して間もない人を含む初心者を対象に基本操作や閲覧及びLINEなど、デジタルツールとしての利便性と危険性を学ぶ講座を開催した。機能や操作の変更点など日進月歩であるため、受講後も独学が必要となることが考えられる。

②土曜学び合いルームの事業

○5月～3月の土曜日に3小学校区で開催。(開催時間：午前9時～11時)

指導は、大学生ボランティア及び学校サポーターなど地域ボランティアで対応。

延参加者数	芦屋小校区	芦屋東小校区	山鹿小校区
児童	143人	229人	291人
学生ボランティア	47人	43人	49人
地域ボランティア	6人	96人	38人

取組への評価・課題

- コロナ禍による中断もあり、以前に比べると参加者は減少しているが、学校内での呼びかけにより、徐々に増えている。
- 指導者として、九州女子大学からの学生ボランティアだけでなく、地域ボランティアの協力も得られている。

③各小学校区祖父母学級

○3小学校区毎に開設

	芦屋小校区	芦屋東小校区	山鹿小校区
開催回数	12回	14回	20回
登録者(R7年度)	38人	23人	29人
延べ参加者	89人	132人	208人

取組への評価・課題

- 学校行事への参加や学級生の自発的な活動により、学習意欲の高揚が図れた。
- 全体的に登録者数は減少傾向にある。活動状況の広報や周知方法を検討し、登録者数の増加を図る。
- 平成30年度より実施している九州女子大学との連携講座「漢字の話」は、学級生に好評なため、引き続き実施できるよう関係各所と連携を取る。

④学校サポーター事業（平成23年9月発足）

○延べ163人の参加

【芦屋小】小学校敷地内除草・花植え作業、1年生授業支援、授業参観、土曜学び合いルーム
(実施日・参加者数)

- 除草・花植え作業 6月5日(木)5人
令和8年3月4日(水)8人
- 1年生授業支援 令和8年1月29日(木)6人
- 授業参観 5月10日(土)2人、10月25日(土)8人、令和8年2月13日(金)2人、2月19日(木)2人、2月27日(金)4人
- 土曜学び合いルーム 5月24日(土)～令和8年2月28日(土)延べ1人

【芦屋東小】除草・花植え作業、東小まつり支援、土曜学び合いルーム
(実施日・参加者数)

- 除草・花植え作業 6月3日(火)4人、10月10日(金)9人、12月2日(火)6人
- 東小まつり支援 11月8日(土)3人
- 土曜学び合いルーム 5月24日(土)～令和8年2月28日(土)延べ38人

【山鹿小】1年生授業支援、3年生授業支援、山鹿まつり支援、土曜学び合いルーム
(実施日・参加者数)

- 1年生授業支援 6月24日(火)5人、7月4日(金)6人、
令和8年1月23日(金)6人
- 3年生授業支援 令和8年2月10日(火)6人
- 山鹿まつり支援 10月8日(土)5人、11月8日(土)6人
- 土曜学び合いルーム 5月24日(土)～令和8年2月28日(土)延べ36人

○芦屋小学校(21人登録)、芦屋東小学校(10人登録)、山鹿小学校(7人登録)

※芦屋中学校は特定のサポーターがないため、必要に応じて3小学校の登録者へ活動を要請する。

取組への評価・課題

- 学校サポーターの登録者や参加者は減少傾向にある。学校ニーズを把握しサポーターが活動できる場を提供していくとともに、活動状況の広報や周知方法を検討し、サポーターの増加を図る。

⑤地区公民館長指導育成事業

○福岡県公民館連合会が主催する福岡県公民館実践交流会に参加した。

日時：令和8年1月22日（木） 午後1時～3時30分

会場：宗像ユリックス

参加者：地区公民館長1人と中央・芦屋東の各公民館長及び担当係長・係員が参加

○芦屋町単独での地区公民館長研修会を実施した。

日時：令和8年3月25日（水） 午後7時～7時40分

参加者：地区公民館長、役員など 19人（13地区）

○地区公民館活動費補助金 1,358,530円

○公民館長事務交付金 769,500円

⑥芦屋町文化協会と各種同好会の育成事業

○芦屋町文化協会が主催する「あしや文化祭」に対し人的支援等を行った。

○文化協会だより発行の支援を行った。

○芦屋町文化協会補助金 2,052,000円

⑦芦屋町青少年健全育成町民会議の支援

ア. 児童生徒の安全確保のための活動

○「みまもり隊」の推進

○「こども110番のいえ」の推進

イ. あいさつ運動

○各校区育成会議で街頭啓発を実施

毎月月初めの登校日（学期始めは2日間）を統一街頭啓発日と定め、地域の協力のもとあいさつ運動を実施。また、15日についても、町民会議役員が広報車に乗車し、啓発活動を実施している。

ウ. 非行防止のための夜間巡回

○長期休暇時を中心に、各区単位で地域の実状に応じて実施

エ. 校区コミュニティ醸成活動

○各校区の特徴に併せて、学校行事への参画やスポーツ行事を実施

・芦屋小校区：10月4日（金）親子除草作業 ※雨天中止

12月20日（土）芦小まつり支援 14人

令和8年3月4日（水）花いっぱいキャンペーン 2人

・芦屋東小校区：10月10日（金）グラウンド除草作業 22人

11月8日（土）東小まつり支援 13人

令和8年3月10日（火）卒業式支援（鉢植え花贈呈） 1人

・山鹿小校区：5月10日（土）浜運動会支援（交通誘導・見回り） 20人

11月8日（土）山鹿まつり支援 30人

令和8年3月13日（金）卒業式支援（鉢植え花贈呈） 1人

- 町内一斉清掃への参加呼びかけを行い、参加児童に参加賞を配布
参加者 174 人（芦屋小校区 63 人、芦屋東小校区 65 人、山鹿小校区 46 人）

オ. 研修会の開催

- 指導者研修会：7月29日（火）午後7時30分～
遠賀保護区保護司会 松田義春さんによる講演
「保護司の活動と青少年の非行防止」参加者 74 人

カ. 啓発活動

- 「町民会議だより（地区回覧板）」の発行・・・2回／年（5月・9月）
- 「町民会議だより（全戸配布版）」の発行・・・1回／年（4月）※広報あしや折り込み

キ. 青少年の主張大会

- 町大会：12月13日（土）
発表者 9 人（小学生 6 人、中学生 3 人）※当日、小学生 1 人欠席
司会者 2 人（中学生）

ク. 家庭の日啓発

- 小中学生による作文、ポスターの作品募集
応募作品数：作文 103 点、ポスター 108 点

ケ. 芦屋町青少年健全育成町民会議補助金 600,000 円

取組への評価・課題

- 町民会議、各校区育成会議の活動が活発化していくよう支援していく。
- 「こども 110 番のいえ」及び「みまもり隊」登録者名簿の見直しと新規協力者の募集を行った。

⑧公民館施設の改修

- ・中央公民館の避難棟に手摺を設置した。
- ・中央公民館非常用電源整備工事を行っている（令和8年8月終了予定）。
- ・芦屋東公民館と山鹿公民館の LED 化工事を行った。

(2) 図書館事業

①図書館まつり事業

○春の図書館まつり

- 4月19日（土）～5月11日（日）

子ども読書の日（4月23日（水））にあわせた読書活動推進事業

- ・子ども読書の日特別おはなし会・・・4月27日（日）中央公民館 21 会議室 参加者 31 人
- ・おすすめの本展示・・・・・・・・町内小中学校連携事業

4月19日（土）～5月21日（水）参加者 178 人

- ・ブックリサイクル・・・・・・・・保存期間切れの雑誌や新聞のリサイクル

4月19日（土）～25日（金）参加者 129 人

○図書館夏フェスタ

○7月5日(土)～8月24日(日)

- ・本の森探検ツアー……………夏休みを迎えた児童・生徒に読書のきっかけづくりとして、貸出冊数に応じたスタンプラリーの実施
パスポート配布枚数 428 枚 達成数 289 枚
達成延べ人数 小中学生 88 人 未就学児 35 人
大人 166 人 合計 289 人
- ・こども図書館員……………7月19日(土) 午前9時45分～正午 3人

○秋の図書館まつり

○10月25日(土)～11月9日(日)

読書週間(10月27日(月)～11月9日(日))にあわせた読書活動推進事業

- ・おはなしの絵展示……………町内保育所(園)、幼稚園との連携。(図書館前ロビー)
参加者 123 人
- ・おすすめの本展示……………町内小中学校との連携。(図書館多目的室)
参加者 191 人
- ・ブックリサイクル ……………破損や長期保存の傷み等で貸出が少なくなった除籍本の
リサイクル 10月25日(土)～31日(金)
参加者 188 人
- ・シール de ポン……………本の貸し出しとクイズを楽しむ 参加者 60 人
- ・こども図書館員……………11月1日(土) 午前9時45分～正午
参加者 3 人

②こども図書館員事業(再掲)

○図書館の仕事体験を通して子ども達に図書館を身近なものにする。

○7月19日(土) 小学4年生～6年生の計3人

(図書館夏フェスタ事業)

○11月1日(土) 小学4年生～6年生の計3人(秋の図書館まつり事業)

③図書館講演会など

○大人の上映会

6月7日(土) 午後1時～3時20分

「52 ヘルツのクジラたち」の上映 参加者 30 人

11月29日(土) 午後1時～3時

「老後の資金がありません！」の上映 参加者 28 人

○図書館講演会

令和8年1月25日(日) 午後2時～5時 中央公民館 21 会議室

はしもとえつよさん(絵本作家)による講演会とサイン会

「はしもとえつよさんの「たのしいえほんのおはなし」」参加者 58 人

○冬の特別おはなし会

12月14日（日）午前10時45分～正午 中央公民館 21 会議室

図書館ボランティア団体と絵本ミュージカルボランティアによるおはなし会 参加者 22 人

○ぬいぐるみおとまり会

令和8年1月31日（土）午前11時～2月1日（日）午後6時

夜の図書館をぬいぐるみに探検してもらう企画。おはなし会と一緒に参加したぬいぐるみを預かり、翌日の午後6時までに迎えに来てもらう。ぬいぐるみが夜の図書館を探検している写真をプレゼントする。参加者 12 人

○お楽しみ上映会

8月3日（日）午後2時～3時

「おしりたんてい コズミックフロント」の上映 参加者 40 人

令和8年3月1日（日）午後2時～3時

「トムとジェリー」の上映 参加者 28 人

取組への評価・課題

●さまざまなイベントを実施することで、図書館への来館や読書活動の推進を図ることができた。

④図書館ボランティアの指導育成

○図書館ボランティアによる定期的な読み聞かせの実施

芦屋町図書館 1 階 おはなしのへや 各日午前11時～11時30分

○にじの会……………毎月第2、4日曜日

○お話しポケット……………偶数月第2土曜日

○赤ちゃんおはなし会「たち」……………毎月第1水曜日

○特別おはなし会の実施（再掲）

図書館ボランティアと連携し、中央公民館 21 会議室で年2回実施

○子ども読書の日特別おはなし会…… 4月27日（日）午前10時45分～正午 参加者 31 人

○冬の特別おはなし会…………… 12月14日（日）午前10時45分～正午 参加者 22 人

取組への評価・課題

●幼児期の読み聞かせの大切さを周知することができた。

●ボランティア団体メンバーの高齢化と人数が減ってきていることが課題である。ボランティアと連携し、参加者増加のための広報活動に努める必要がある。

⑤「マタニティ・ファーストブック」・「ブックスタート」・「キッズブック1・2・3」

○母子手帳手続きの際に、出産を控えた家族におすすめの本や図書館の利用案内などを掲載したリーフレットを配付する。

○健康・こども課と連携し、毎月1回の4カ月児健診の時に、読み聞かせの大切さや絵本の面白さを伝え、子育てを支援する。

○乳幼児用の絵本2冊と保護者用の本、手提げ袋の配布。

○乳幼児の保護者に向けて「読みきかせの手引き本」の同時配布。

○配布対象者に図書館の紹介を行い、図書館の利用を促す。

○本年度は年 12 回実施し、62 組の親子に配布。

(4/23(水)、5/28(水)、6/25(水)、7/23(水)、8/27(水)、9/24(水)、10/22(水)、11/26(水)、
12/24(火)、令和 8 年 1/28(水)、2/25(水)、3/25(水)に実施)

取組への評価・課題

- 家庭での絵本のよみきかせを始めるきっかけとなり、子育て支援・家庭教育支援につながっている。図書館の利用促進にも効果があり、引き続き関係部署と連携し成長過程でのよみきかせの必要性の周知を図る。

⑥町内小中学校、地域との連携事業の推進

ア. 小学校見学受け入れ (図書館利用説明・館内見学・書籍の貸出)

- 芦屋小学校 2 年生 児童 31 人 引率 2 人 6 月 13 日 (金)
児童 4 人 引率 1 人 10 月 2 日 (木)
- 芦屋小学校 3 年生 児童 36 人 引率 3 人 11 月 21 日 (金)
- 芦屋東小学校 2 年生 児童 29 人 引率 5 人 6 月 27 日 (金)
- 山鹿小学校 2 年生 児童 39 人 引率 5 人 12 月 11 日 (木)

イ. 小学校団体貸し出し

- 町内三小学校の全学年の児童数分の書籍を学期に 1 回、学年に応じた内容を選書し貸し出し。
特別支援学級については、所属児童の実態、学年を考慮し選書を行った。

ウ. 中学校団体貸し出し

- 書籍の貸し出しを中学生に拡充するため、芦屋中学校の文化委員会と連携して 11 月から 1 カ月間の貸し出しを実施。文化委員が図書館に来館し、職員の助言を受けながら、1 年生は各クラス 30 冊、2・3 年生は各クラス 20 冊の選書を行った。

エ. 小中学校児童生徒の「おすすめの本」の展示 (再掲)

- 春の図書館まつりと秋の図書館まつりで、児童生徒による「おすすめの本」を展示。
- 図書館内に、紹介された本を集めた特集コーナーを設置。

オ. 中学 1 年生への「おすすめの本リスト」の配布

- 中学校を訪問し、新 1 年生におすすめの本を紹介することで、読書への興味を高め、図書館利用を促進する。5 月 30 日 (金)
- 図書館内に、紹介された本を集めた特集コーナーを設置。

カ. キャリア教育授業への参加

- 中学校主催のキャリア教育授業に参加し、図書館業務や司書資格の取得について説明を行った。令和 8 年 3 月 16 日 (月)

キ. 保育所 (園)、幼稚園の見学受け入れ (館内見学・作品見学・館内での本の読み聞かせ)

- 園児たちの団体見学を受入れ、絵本に親しんでもらうために電子図書による読み聞かせの実施。

- ・芦屋保育園 年 17 回実施 (4/8(火)、6/11(火)、6/18(水)、6/27(金)、7/10(木)、
7/17(木)、8/9(土)、8/30(土)、9/11(木)、10/11(土)、10/30(木)、
12/10(水)、12/26(金)、令和 8 年 1/7(水)、1/10(土)、2/4(水)、
2/28(土))
延べ 園児 278 人 引率 74 人

- ・ 芦屋中央幼稚園 令和8年2/5(木) 園児53人 引率7人
- ・ 愛生幼稚園 6/11(火) 園児14人 引率4人
- ・ 山鹿保育所 10/28(火) 園児8人 引率3人

ク. 保育所(園)、幼稚園児の「おはなしの絵」の展示(再掲)

- 秋の図書館まつりで、保育所(園)、幼稚園児による「おはなしの絵」を展示。
- 図書館内に、紹介された本を集めた特集コーナーを設置。

取組への評価・課題

- 各学校や保幼と連携することで、芦屋町図書館の利用促進につながっている。今後も図書館資料や機材を活用した活動を継続し、町内全ての小中学校と、さらに多くの保育園、幼稚園との連携を深め、特に小学校高学年や中学生の図書館利用の推進に努める。

⑦地域との連携

おでかけシニア図書館

- 町内高齢者施設(まつかぜ荘)への毎月1回、30冊ごとの本の貸し出し。
- リクエストを受けて、施設利用者の希望の本を積極的に貸し出す。

取組への評価・課題

- 図書館に来ることのできない高齢者に、読書の楽しみを広げていくことができている。

⑧遠賀郡広域電子図書館の活用

- 電子図書館の利用促進を図り、電子図書を活用した読書活動を推進した。
 - ・園児たちの団体見学时、電子図書による読み聞かせを実施
 - ・中学校新1年生や乳幼児の保護者に対し、電子図書館の利用方法を説明
 - ・電子図書館の学校連携について芦屋町で先行導入し、小学校内での読書活動時、児童用タブレットでの電子図書利用を促進

取組への評価・課題

- 電子図書による読み聞かせや、図書館の利用案内時に電子図書館についての説明を行うことで、新規利用者の拡大を図った。

⑨図書館システムの更新

メーカーによる備品の供給及び機器更新の推奨時期を考慮し、図書館の機器故障等による障害を未然に防ぐため図書館システムの更新を行った。

⑩令和7年度利用統計

- 開館日数：284日
- 蔵書数 76,982冊(図書のみ)
- 登録者数

令和7年度新規登録者数				登録者総数(累計)			
児童	学生	一般	合計	児童	学生	一般	合計
66人	8人	133人	207人	803人	670人	4,446人	5,919人

○利用者数（貸出人数）

児童	学生	一般	合計
2,809人	295人	11,079人	14,183人

○貸出冊数

一般書	児童書	絵本	図書合計	雑誌	A V	その他	合計
39,078冊	11,566冊	14,693冊	65,337冊	3,163冊	409	16冊	68,925冊

○広域利用

	岡垣	遠賀	水巻	北九州	中間	その他	合計
利用者	407人	76人	220人	1,734人	51人	2人	2,490人
貸出冊	2,244冊	423冊	883冊	10,138冊	225冊	7冊	13,920冊

○相互貸借

	絵本	児童書	一般	その他	合計
借受冊数	12冊	12冊	243冊	0冊	267冊
貸出冊数	14冊	19冊	250冊	0冊	283冊

○電子図書館利用者数（貸出人数）

一般	芦屋小	芦屋東小	山鹿小	教職員	合計
269人	145人	156人	196人	48人	814人

○電子図書貸出冊数 1,744冊

○学校連携書籍（読み放題パック）閲覧数

一般	芦屋小	芦屋東小	山鹿小	教職員	合計
756冊	2,856冊	2,868冊	6,277冊	107冊	12,864冊

取組への評価・課題

- 電子図書館の活用も含め、より多くの利用を促し、利用者に満足してもらう図書館となるため、図書の選書、館内の本を紹介するコーナーの充実、イベントの検討を行っていく。

(3) ギャラリーあしや事業

①年間入館者

- 3,392人の来館者があった。

取組への評価・課題

- 企画展や特別展以外の常設展示に力を入れるとともに、町民ギャラリーとしての更なる活用を促進するため、広報活動を工夫する。また、貸館については、円滑な展示会利用ができるよう、利用者支援を行う。

②企画展・特別展の実施

- 「わが原郷・遠賀川を描く さとうゆきの展」〔7月26日（土）～8月24日（日）〕

開催日数：27日 来館者：1,078人

水巻町在住の画家・さとうゆきの氏の作品を展示した。

○「末松コレクション展～南画の世界～」〔11月22日（土）～12月21日（日）〕

開催日数：27日 来館者：432人

芦屋町在住の末松寿博氏より寄贈された水墨（南画）を展示した。

取組への評価・課題

- 「さとうゆきの展」では、「遠賀川」「炭鉱」「ボタ山」をテーマにしたものを中心に、郷土の景色や歴史の移り変わりを描いた油絵や水彩画など計55点の作品を展示した。また、会期中はギャラリートークを開催した。写実的な作風で、100号サイズ（162×130cm）の作品も複数展示したことから、見ごたえがあったと来場者からも好評であった。
- 「末松コレクション展」では、寄贈された作品のうち60点と末松氏所蔵の作品5点を借用して展示した。作者の解説や書の解説文のパネルを作成したことで、来場者の南画への理解を深めることができた。末松氏がほぼ全日程在廊しており、末松氏の話が直接聞くことができ、来場者の満足度も高かった。
- 特別展や企画展の広報や周知について、情報発信する手法が現段階で限られている。SNSやInstagram等での情報発信を希望する来場者も多い。町LINEや地域おこし協力隊SNSでの情報発信のほか、出展者のネットワーク利用やメディアに取り上げられるタイミングを検討する必要がある。

③ワークショップの実施

ギャラリーコーディネーターによるワークショップを実施 総参加者数68人（ほか同伴者17人）

- ・第1回「粘土でスイーツ講座」・・・5月25日（日）参加者：10人（ほか同伴者2人）
- ・第2回「瞑想のためのペン画講座」・・・6月22日（日）参加者：3人
- ・第3回「親子でDIY講座」・・・7月27日（日）参加者：10組20人
- ・第4回「UVレジン講座」・・・10月18日（土）参加者：11人（ほか同伴者8人）
- ・第5回「水引アクセサリ講座」・・・12月21日（日）参加者：6人（ほか同伴者1人）
- ・第6回「粘土でスイーツ講座Ⅱ」・・・令和8年2月21日（土）参加者：10人（ほか同伴者6人）
- ・第7回「草木染め講座」・・・3月20日（金・祝）参加者：8

取組への評価・課題

- チラシやポスターを作成・小中学校を通じて配布するほか、試作品を公民館ロビーに展示することで、ギャラリー事業の周知や新規参加者の増加につながった。
- 講座内容について常に検討を行い、企画展・特別展に関連するテーマや新規講座を取り入れ、新規の参加者増へつながるよう努力する。

④学校との連携・支援

○「芸術家のたまご展」〔令和8年1月24日（土）～2月23日（月・祝）〕

開催日数：27日 来館者：532人

芦屋町内の小中学校や近隣中学校及び中学校文化連盟、八幡中央高等学校芸術コースの作品を展示した。

取組への評価・課題

- 「芸術家のたまご展」は、児童・生徒の作品が校外で観覧でき、来館者からは好評であった。
- 特別展「さとうゆきの展」に八幡中央高等学校芸術コースの教師が来館したことで、たまご展での生徒作品の展示につながった。今後も引き続き関係性を築いていきたい。

⑤町所蔵作品の常設展示実施と貸しギャラリーの活用促進

- 「丹生忍冬齋展」〔4月1日（火）～12日（土）〕開催日数：11日 来館者：39人
ギャラリー収蔵作品のうち、丹生忍冬齋氏の作品を展示した。
- 「バーミリオン展」〔4月17日（木）～27日（日）〕開催日数：10日 来館者：465人
〔令和8年3月20日（金・祝）～29日（日）〕開催日数：10日 来館者：477人
ギャラリーを利用者団体へ貸し出し、作品展が開催された。
- 「Nina展」〔5月3日（土・祝）～6日（火・祝）〕開催日数：3日 来館者：147人
ギャラリーを利用者へ貸し出し、作品展が開催された。
- 「郷土の芸術家展」〔6月20日（金）～7月18日（金）〕開催日数：25日 来館者：88人
〔9月17日（水）～10月22日（水）〕開催日数：31日 来館者：88人
ギャラリー収蔵作品のうち、芦屋町にゆかりのある作家8人の作品を展示した。

取組への評価・課題

- 常設展では、芦屋町にゆかりのある画家の作品展示することで、芦屋町の芸術やギャラリー事業の発信に取り組んでいる。
- ワークショップのチラシを小学校に配布したことや、小学生が貸しギャラリーを活用して個展を開催したことで小学生の来館者が増えている。
- 来館者は定期的に公民館を利用している同好会の会員やワークショップの参加者がほとんどであり、公民館を利用しない人への周知ができていない。ホームページやLINEを活用するなど、展示やギャラリーの貸し出し情報の周知方法を検討する必要がある。